

2022年7月21日
JSA-S1012:2022 準拠 No.0012

次亜塩素酸分子水溶液経時安定性試験報告書

エコア株式会社 御中

一般社団法人 次亜塩素酸化学工業会



5. 試験検体

貴社支給商品

6. 測定機器

[有効塩素濃度]

デジタルパックテスト DPN2 ClO-C

(共立理化学研究所製)

[pH 測定]

LAQUA D200-1

7. 試験実施責任者：石田智洋

試験実施者：石川真美、高寺里弥

8. 試験結果

| 検体 番号 | 検体名 | 容量 | pH 初期値 | pH 試験後 | 有効塩素濃度 初期値 mg/L | 有効塩素濃度 保管試験後 mg/L | 合否 | 試験結果 からの 算出値 | 使用 期限 |
|----------|-----------|-------|-----------|-----------|-----------------------|-------------------------|----|--------------------|----------|
| 1 | ハイパーエコアクア | 20L | 6.47 | 6.60 | 110 | 95 | 合 | 150日 | 240日 |
| 2 | ハイパーエコアクア | 10L | 6.35 | 6.58 | 111 | 83 | 合 | 81日 | 130日 |
| 3 | ハイパーエコアクア | 500ml | 6.57 | 6.57 | 111 | 95 | 合 | 143日 | 229日 |
| 4 | ハイパーエコアクア | 500ml | 6.44 | 6.38 | 109 | 75 | 合 | 65日 | 104日 |

※ 検体 No1～3→常温試験

※ 検体 No4→過酷試験

9. JSA-S1012:2022 準拠を表記する商品への記載について

「JSA-S1012:2022 次亜塩素酸分子水溶液」の標準規格に定める経時安定性試験方法に基づいた試験結果です。販売商品に JSA-S1012:2022 準拠を謳う場合、8.の合否で、合格判定を得たもので、かつ、本試験結果に基づいた使用期限を記載してください。

尚、使用期限の算出方法は過酷試験の算出数値×1.6倍を使用期限と判断しています。

但し、10Lに関しては、20Lと同等とみなし、150日の使用期限と判断します。

以上より、商品記載の「3ヶ月以内」の使用期限は、いずれも問題ないと判断します。

1. 依頼者・担当者 宮澤公栄 様

2. 保管試験期間および測定日

(ア)初期値測定日 2022年6月7日

(イ)保管試験期間 2022年6月7日～2023年7月7日

(ウ)保管試験後測定日 2022年7月8日

3. 試験場所・試験環境

東京都豊島区 工業会本部 1階



4. 保管試験条件

[平均室温] (恒温槽)

28.5°C (サーモロガーによる平均値)

[照度]

784 ルクス

